

参考資料 用語解説

あ行

アイデアコンペ

デザインや建築に関し、より優れた案を得るために、多くの設計案の応募を得て、その中からデザインまたはデザイナーを選抜する方式。

アイデンティティ

明確な存在意識。個性。都市の個性や特徴をかもし出すことによって、都市の存在意義を示すこと。

アクセス

接近、(ある場所などへの) 交通路、近づく手段のこと。

新しい公共

これまで「官」が支えてきた教育や子育て、防犯や防災、医療や福祉などの公共サービスに、地域のNPO法人や市民が積極的に参加し、社会全体として支援する新しい公共サービスのあり方。

アミューズメント

娯楽。楽しみ。

一次避難地

地震などの災害による家屋の倒壊、消失などにより被害を受けた、あるいは受けるおそれのある場合に最初に避難する場所のこと。大火の危険が迫った場合は広域避難地に再避難するための、避難中継基地として機能します。

ウォーターガーデン

水辺のあるガーデン、ビオトープ空間。

ウォールクライミング

自然の岩場を模した人工壁を利用し、岩登りのトレーニング、競技を行うスポーツ。

エコ・ウェルネスガーデン

本計画では、健康づくり、子育てや遊びなど市民の憩いの場となるガーデン空間とします。

エコシティー

環境共生都市のこと。地球環境問題の深刻化の中で、これまでのような巨大人口都市、エネルギー大量消費都市、非循環型都市への反省から、緑豊かな循環型都市を目指そうとするもの。

エコ住宅

太陽光発電パネル、太陽熱温水器などのソーラーシステム、断熱材や高反射率塗料、LED照明や節水型トイレなど、環境にやさしい設備やシステムを採用している住宅のこと。

エコツーリズム

地域の自然環境・歴史・文化を見学するのみならず、その資源の価値や保全・維持を深く理解することを含む旅行の一形態で、体験活動を実践するなどにより持続的な環境保全や地域振興を目指したもの。

エコ・ファームガーデン

本計画では、周辺の農空間と連携した農業をテーマとしたガーデン空間とします。

エリアマネジメント

一つの目標に向かって、地域が長い年月かけて発展し続けられるようにするため、市民、事業者、行政など多様な主体が一つの組織の中でつながり、役割分担、共同行動できる新しい仕組みを作るもの。

オーガニック

化学合成農薬や化学肥料に頼らず、有機肥料などにより土壌の持つ力を活かして栽培する農法のこと。

オープンスペース

公園、広場、河川、農地など、建物によって覆われていない土地又は敷地内の空地の総称。

か行

河川防災ステーション

洪水発生時は水防活動の基地や避難場所として、平常時には地域活動などの場として活用できる河川防災の拠点となるエリアのこと。

ガーデニング

草花を植栽したり、柵や石畳などで装飾するなどして庭造りを楽しむこと。

ガーデン

庭園。庭。

ガーデンミュージアム

本計画の、草津川跡地の空間像を示した言葉。「人と自然」「人と人」がつながり、時の流れの中で成長し、様々な活動を通じて創出される、生き生きとした風景とします。

共助

互いに助け合うこと。互助。

グラデーション

物事の段階的な変化。漸次的移行。

グリーンツーリズム

農村滞在型観光のこと。農村地域のもつ快適で美しい環境、人々の伝統的なライフスタイルや文化、農業体験などを資源として都会の人々を受け入れ、あわせて農村の活性化を図ろうとするもの。

減災

災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組み。防災が被害を出さない取り組みであるのに対して、減災とはあらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていこうとするもの。

広域避難所

震災および大火災などにより、大規模な被害が予測される場合の広域的な避難場所として指定された場所のこと。都市公園、学校や官公庁施設などが指定されている。

公助

公的機関が援助すること。特に、個人や地域社会では解決できない問題について、国や自治体が支援を行うこと。

交通マネジメント

道路の容量に対応した交通需要の誘導や、特定の時間帯、地区および交通手段に集中する交通を分散化、平準化させることにより、交通混雑の解消を図っていく手法。

交通容量の拡大に対し、時差通勤やパーク・アンド・ライドなどの自動車利用（需要者）側への規制・誘導・啓発などにより交通行動の変更を促す交通需要マネジメントと、既存交通施設の有効活用や効率的運用により交通問題を解決しようとする供給側を調整する施策がある。

コーディネーター

いろいろな要素を統合したり調整したりして、一つにまとめ上げる係。また、そういう職業。

コミュニティガーデン

本計画では、地域住民が主体となって、地域のために場所の選定から造成、維持管理までのすべて過程を自主的な活動によって支えている『緑の空間』やその活動そのものを指す概念とします。

コミュニティデザイン

本計画では、人と人との“つながり”を広げることで地域の活力を生み出すまちづくり手法とします。

コミュニティ・バス

一定の地域内を、その地域の交通需要に合わせて運行するバス。

小型バスで住宅地の内部まで運行したり、公共施設を結ぶなど、通常の路線バスではカバーしにくいきめ細かい需要に対応するためのもの。

コンポスト

生ごみや家畜ふん尿、あるいは汚泥などの有機性廃棄物から作る堆肥、または堆肥化手法のこと。

さ行

菜園ガーデン

本計画では、ガーデニングの手法により演出された菜園（貸し農園）とします。

自助

他人の力によらず、自分の力だけで事を成し遂げること。

自然力

自然界に起こる種々の作用。人間の労力を補う自然の力。風力・水力など。

浸透枿

側面や底に穴があり、溜まった雨水を地中にしみ込ませる下水枿。浸水被害の抑止、地下水の保持などを目的に設置される雨水浸透枿。

シンボル

象徴。表象。

シンボル空間

ここでは、草津川跡地ならではの特徴を持った空間。

シンボルツリー

公園や庭などの目立つ場所に植栽し、景観を際立たせる効果を狙った樹木。

シンポジウム

研究発表会。討論会。

一般的には、あるテーマを決めて広く聴衆を集め、公開討論などの形式で開催されることが多い。

スキルアップ

腕前を上げること。技術力を高めること。

スマートシティ

デジタル機器による電力需給の自律的な調整、熱や未利用エネルギーも含めたエネルギーの「面的利用」や、地域の交通システム、市民のライフスタイルの変革などを複合的に組み合わせた、エリア単位での次世代エネルギー・社会システムの概念。

スローライフ

生活様式に関する思想の一つで、地産地消や歩行型社会を目指す生活様式を指す。

生物多様性

いろいろな生物が存在しているようす。生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階で様々な生命が豊かに存在すること。

セラピー

治療。療法。薬や手術などによらない心理療法や物理療法をいう。

セレクトショップ

特定のブランドだけでなく、店独自のセンスや、コンセプトに基づいて選んだ複数ブランドの商品を取り扱う店舗のこと。

ゾーニング

対象地を、目的・機能・用途に応じて空間として区分すること。

た行

多年草

一度植え付けたら、冬季地上部が枯れた場合でも、地下部（根・地下茎）はその場所に永年宿在して年々生育し、開花する植物。「宿根草」ともいう。

地域コミュニティ

地域の結びつきが強く、地域性を持った共同体、または地域社会のこと。

地被植物（地被類）

地表面に低く広がり、緻密に覆うよう生育する植物。「グラウンドカバープランツ」とも呼ばれる。

低炭素社会

地球温暖化を防ぐため、二酸化炭素やメタンなどの温暖化ガスを極力排出しない経済社会像。石油などの化石燃料に過度に頼らずに自然エネルギーを活用し、大量生産・大量消費社会から循環型社会へ脱却することを意味する。

低炭素まちづくり

都市の集約化、公共交通機関の利用促進、建築物の低炭素化、緑・エネルギーの面的管理・利用の促進などにより、エネルギー利用の合理化を図るまちづくりのこと。二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が少ないまちづくり。

テーマガーデン

魅力あるテーマのもとにデザインされたガーデン。

テングス病

植物病害の一種で、植物（多くは樹木）の茎・枝が異常に密生する奇形症状を示すものの総称。

天井川

堤防内の砂礫堆積の進行により、河床面が周辺平野面より高くなった河川。

透水性舗装

雨水が地中に浸透することのできる舗装。都市部では水の循環を促し、寒冷地では路面の凍結を防ぐ。

動線

建築や都市における人や物の動きを示す線。方向・頻度・時間的变化などを表示し、建築や交通施設計画に反映する。

都市施設

都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するために必要不可欠な施設。具体的には道路、駐車場、公園などがある。

トータルデザイン

本計画においては、従来の施設や空間、製品などのデザインを個別に行う方法から、より良い空間づくり、統一感、整合性、地域活動であるコミュニティづくりを含めてデザインを行う新たな試みとします。

な行

ナチュラルガーデン

ありのままの自然の花や木の姿を活かした安らぎや癒しを基調としたガーデン。(詳しくは P14 参照)

ニーズ

要望、要求。人々が必要と思いき求めるもの。

ネットワーク

網目状に広がり互いに結びつくこと。つながり。

農産物直販所

生産者が直接販売する商業施設。

は行

ハイライン

ニューヨーク市にある長さ 1.6 km の公園。ウエストサイド線の支線で、マンハッタンのロワー・ウエストサイドで運行されていた 2.33 km の高架貨物線跡を、空中緑道として再利用したもの。

バイオマス

もともとは生物 (Bio) の量 (Mass) のことを意味していますが、今日では再生可能な生物由来の有機エネルギーや資源 (化石燃料は除く) を指すことが多くなっています。国のバイオマス・ニッポン総合戦略では「家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源」と定義されています。

バタフライガーデン

チョウをはじめとした昆虫がやって来やすいような吸蜜源となる植物や、食草となる植物を栽培し、植物と昆虫など生き物との共生関係、つまり自然生態を花壇に再現し、その営みを育て観察するガーデン。

バリアフリー

障害者や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。道や床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作ったり、電卓や電話のボタンなどに触ればわかる印をつけたりするのがその例。

ビオガーデン

本計画では、草津川のみどりの基軸とし、様々なガーデンの種類、タイプを展開し、ガーデンミュージアムにおいて、変化と豊かさを示すガーデン空間とします。

ビオトープ

鳥や虫、動物などの生物が生存できるような環境条件を整えた地域、つまり生息空間のこと。近年では、このような空間を整備・保全し、なじみ深い小動物や小鳥、植物などを呼び戻し、生物の多様性を保持していこうとする取り組みが重要視されています。

ヒートアイランド

都市部の気温がその周辺の郊外部に比べて異常な高温を示す現象。

ビューポイント

視点。眺望点。

ヒューマンスケール

人と空間との関係を、人間の身体や体の一部分の大きさを尺度にして考えること。人間の感覚や動きに適合した、適切な空間の規模や物の大きさのこと。

ファサード

建築物の正面。ヨーロッパ建築で重要視され、正面と同程度の装飾がほどこされている場合には、側面についてもいう。

ファニチャー

家具。調度。公園計画では、ベンチ、街灯、柵などの工作物を指す。

ファンド

一般には投資信託などの形態で、投資家から委託を受けた資金の運用を投資顧問会社等の機関投資家が代行する金融商品を指す。市民参加型のファンドは、自然エネルギー（太陽光）を利用した発電所を、市民が参加する形で設置するもの。市民は省エネの取り組みを進めること、設置のための費用を分担することで設置プロジェクトに参加する。

フォーラム

集会所。

示された話題について出席者全員が討議に参加する集会（フォーラムディスカッション）の略。

フォレストガーデン

高木が中心の、雑木林をイメージしたガーデン。

フットサル

五人制のミニサッカー。フィールドはサッカーの9分の1程度の面積で、ボールは専用のものを用いる。

フットライト

足もとを照らす照明。

フリーマーケット

参加者が自分の使っていた古物などを持ち寄って開催する市場。

プレイパーク

既存の遊具を使う代わりに、多少のけがの危険も含め、自然の中で子どもたちが生き生きと自由に工夫して遊べる遊び場のこと。

北海道ガーデン

北海道では、美しい7つのガーデンが集中している、旭川～富良野～十勝を結ぶ全長約 200km をガーデン街道と称し、観光ルート化している。いずれのガーデンも北海道ならではの気候や景観を活かした個性にあふれ、自然の風景や山並みを楽しめると共に、豊かな食も堪能できる。

ポテンシャル

ドイツ語由来の言葉で「資質」「潜在能力」「秘めたる力」などの意味を持つ単語。

ま行

まちづくり会社

地域振興などを目的として設立される公共性が高い会社。市街地の整備改善などを目的としたところが多い。ここでは、にぎわいと魅力あるまちなかを創造するために民間事業者のノウハウを最大限に活かし、まちのマネジメントなどの公共性の高い事業を並行して進めることにより、まちなかの魅力と資産価値を高め、まちなかの再生を目指すことを目的として設立する会社とします。まちなか再生のための事業を推進するまちづくりの牽引役として、行政や民間企業だけでは実施が難しい事業にも取り組む、公共性と企業性を併せ持つ会社のこと。

マルシェガーデン

本計画では、地場産にこだわったマルシェ、カフェ、レストランなど集客機能を備えた、にぎわい空間の核となるガーデン空間とします。

マルシェ（マルシェ広場）

市、市場を開催する広場。

マンポ

関西の古い方言で、トンネルのこと。

緑軸

都市の環境や景観面で、骨格的な役割を担う軸状の緑地。

メインエントランス

中心的な入り口。正面玄関。

や行

野草ガーデン

本計画では、フォレストガーデンの中に、点在する各種野草をテーマにしたガーデンとします。

ユニバーサルデザイン

高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建築物、生活空間などをデザインすること。

ら行

ライフスタイル

生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方。

ライフライン

電気、水道、ガス、通信設備など都市機能を維持し、日常生活を営むために必須の設備のこと。

ラウンドアバウト

円形交差点の一種。通常 3 本以上の道路を円形のスペースを介して接続したもので、この円形のスペースの真ん中には中央島と呼ばれる、円形の通行できない区域がある。車両はこの中央島の周りの環状の道路（環道）を一方向に通行する。

ランドスケープ

「風景」「景観」。狭義には「眺め」そのもの、あるいはそれを通してとらえられる土地の広がりを目指す、広義には「自然」と「人間」の関わりの様態を含む概念。

ランドマーク

地上の目印。その土地の目印や象徴になるような建造物。

ロックガーデン

自然石と植物を組み合わせたガーデン。

ロードガーデン

道路や道路脇を利用したガーデン。

わ行

ワークショップ

作業場、研修会などの意味。地域にかかわる諸問題に対応するため、様々な立場の参加者が経験交流や共同作業を通じて地域の課題発見・創造的な解決策や計画案の考案・それらの評価などを行っていく活動のこと。

アルファベット

CO₂

二酸化炭素の化学式。

CSR

Corporate Social Responsibility の略。日本語では「企業の社会責任」となる。CSR 活動とは、企業の社会貢献や企業イメージ向上の諸活動のこと。

NPO

Non-Profit Organization の略。営利を目的とせず、公益のために活動する民間団体のこと。



草津市 総合政策部 草津川跡地整備課

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号

電話:077-561-6964(直通) FAX:077-561-2482

E-mail:kusatsu-river@city.kusatsu.lg.jp